

第3回 さいたま市立大宮北小学校 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和5年2月3日（金）11：00～12：00

2 会場 大宮北小学校 教育相談室

3 参加者

瀬野尾 栄子（大宮北部地区 主任児童委員）
立入 健司（青少年育成さいたま市民会議氷川地区会会長）
吉田 弘一（さいたま市立大宮北公民館長）
富田 英雄（さいたま市立大宮北中学校長）
福田 雄亮（本校PTA会長）
大槌 枝里子（本校PTA副会長）
一色 秀哉（本校ダディーズクラブ代表）
渡辺 明（本校校長）
細井 博幸（本校教頭）
木村 元基（本校教務主任）
菊地 豊（本校学校地域連携コーディネーター）

欠席者

榑原 靖之（本校チャレンジスクール実行委員長）
小川 武子（大宮交通安全協会副会長）
山崎 祥子（本校PTA副会長）

4 議事

(1) 校長あいさつ

(2) 会長あいさつ

(3) 1月までの本校の状況について

①子どもたちの様子及び学校行事について（校長）

- ・感染症については、落ち着いた状況が続いている。
- ・5年自然の教室、6年修学旅行といった宿泊行事も無事実施でき、元気に帰ってくることができた。
- ・リフレッシュ工事により体育館が使用できないため、ミュージックフェスティバルを動画配信にて行ったが、演奏だけの動画ではなく、劇のような要素が組み込まれるなど、新たな表現が加わる工夫が見られた。
- ・現在は、卒業期の行事等、来年に向けて、各種取組を進めている。
- ・卒業式、入学式については、市教委の通知及び近隣の学校とも相談を行い、在校生及び来賓として学校運営協議会委員が式に参加することについて理解を得た。
- ・第2回学校運営協議会にて提案された意見書は、教育長に提出させていただいた。

②リフレッシュ工事の現状と今後について（教頭）

- ・体育館については、予定通り工事が進められ、2月27日（月）から使用可能の見通し。
- ・3月末より、校庭に仮設校舎建築のためのフェンスが設置される。
- ・2学期から使用となる仮設校舎の教室配置図を示すとともに、音楽室は、現コンピュータ室を利用することについて説明した。

（4）第2回いじめ対策委員会（教頭）

- ・本年度のいじめ認知件数、内容について説明を行った。
- ・いじめ防止に向けた取り組みとして、代表委員会では、①1年間の挨拶運動、②ありがとうの実の作成、③いじめ撲滅宣言の宣伝、④いじめに関わる本の読み聞かせ、⑤いじめになりうる場面を劇として全校児童に見せるなど、いじめを無くすために努力していた。
- ・いじめの認知にとしては、相手にされて嫌だと感じたことは、積極的にいじめと認知していることで、教職員のいじめに対する高い意識をもっての見取りの姿勢、態度が見られる。
- ・各委員に対し、児童の学校外の様子で気になることについて、情報提供をお願いした。
- ・委員より、朝の登校時にスクールゾーンのため進入できない道路を通過する車が見受けられるため、警察との連携が必要であるとの意見があった。

（5）SSNの活動について（教頭）

- ・チャレンジスクール・防犯ボランティア・読み聞かせボランティア・KDC（北小おやじの会）のこれまでの実施状況について説明を行った。
- ・KDC主催のクリスマスコンサートについては、北地区社会福祉協議会との連携や、大宮北中学校吹奏楽部の演奏、キャンプファイヤー、花火など、多くの地域、保護者の皆さんの協力により参加した300名が楽しい時間を過ごすことができた。
- ・防犯ボランティアについては、土手町1丁目方面の地域の方の協力をいただくため、学校運営協議会として防犯ボランティア募集のチラシを作成、配付することについて理解を得た。

（6）PTAの活動にて（PTA会長）

- ・PTAの活動についての意識調査をPTA役員及び全会員に対して実施した。
- ・意識調査の結果を受け、PTA活動の見直しの時期にあることを感じており、PTA活動の透明化を進めることが大切であると考えている。
- ・そこで次年度のPTA活動に向け、「がくぷり」という配付物の管理等を行えるスマホアプリの導入により、印刷物のペーパーレス化、印刷・配付時間の軽減を目指していきたい。
- ・旗振り当番については、児童の安全にも関わることであり、保護者からの必要感も高い反面旗振りを負担と感じている家庭もあることから、今後もじっくりと検討を進めていきたい。
- ・2/4に大宮地区の安心・安全のつどいが行われ、本校の活動が表彰される。地域の皆さんのおかげによる受賞であり、感謝している。

（7）学校自己評価システムシートについて（教頭）

- ・学校自己評価システムシートの年度評価について、評価項目の達成状況、達成度、次年度への課題と改善策について説明を行うとともに、各委員より評価内容について意見をいただいた。

- いただいた意見については、学校自己評価システムシート「学校運営協議会による評価」の欄に記載した。

(8) 令和5年度の学校経営について（校長）

- 次年度の主たる取り組みとして、「教科担任制」と「教育相談と通知表の連携」について、それぞれ説明を行った。
- 「令和5年度の学校教育目標及び経営方針、努力点（案）」を示し、説明を行った。特に、本年度の学校運営協議会での熟議を踏まえた次年度の努力点として、①リフレッシュ工事下での運動機会の確保すること、②家庭・地域・児童会でのあいさつ運動を通じて、誰に対してもあいさつできる心と態度を育むこと、③地域や家庭との協働性を高め、諸活動をともに楽しむ意識で持続的に取り組むこと、④計画的に個人面談、教育相談を実施し、児童の実態を多面的に把握して、保護者との共通理解を深め、協働性の構築に努めることの4点を中心に教育活動を進めていくことを示し、委員からの承認を得た。
- 「大宮北小・コミスクプラン」を示し、今後の学校運営協議会の活動内容を随時反映し、Webページにて発信していくことについて、了解を得た。

(9) 諸連絡

- 本年度の活動への感謝を伝え、振り返りのためのアンケートへの協力をお願いし、閉会とした。

記録（教頭）